

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年12月28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891600041		
法人名	社会福祉法人 木犀会		
事業所名	花水木	ユニット名	さくら
所在地	〒309-1703 茨城県笠間市鯉淵6266-143		
自己評価作成日	平成22年6月24日	評価結果 市町村受理日	平成22年12月22日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年8月30日	評価確定日	平成22年12月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域の中でその人らしく生きがいを見い出せられるように環境づくりをし毎日笑顔のある生活があるホームでありたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

職員は利用者の今までの生活や思いを大切に考え、馴染みの人や場所との関係が継続できるよう支援している。
馴染みの場所に行けるよう個別に対応するほか、遠方への外出を年間行事に多数組み入れて支援している。
事業所内の行事も多彩であり、広報誌で毎月家族等に利用者の様子を知らせるなど、利用者との関係継続に配慮している。
広報誌に事業所で取り組んでいる「世界の子供にワクチンを届けるエコキャップ運動」を掲載するなど、家族等の協力が得られる関係を築いている。
管理者と職員は「笑いのある生活」をケアの基本とし、利用者の身体機能の維持のために利用者全体のリハビリ体操はもとより利用者個別のカリキュラムを作成し実践している。
利用者は地域の祭りに参加しているほか、近隣の保育園児と交流するなど地域の一員として生活している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員と理念を考え作成し住み慣れた地域の中でつながりを大切に又、1人ひとりの思いを大事に見直しをしながら実践につなげられるようにしている。	「生きがいを大切にその人らしい生活が出来る支援」「地域の中でふれあいの出来るホーム」などを含む理念を管理者と全職員で作成している。 朝礼で倫理綱領を音読しているが、理念の共有を確認する場を設けてはいない。	理念の共有や実践がされているかどうかを全職員で確認する機会を設けることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの公園開園式があり近所の方や他の施設の方達も参加され交流を行った。散歩の時職員とご利用者様とで道路のごみ拾いを行い近所の方とのあいさつもしている。又、散歩ボランティアの方達とも散歩に行っている。	利用者は職員と一緒に図書館に出かけたり、地域の行事に参加し地域の人々と交流している。 地域の灯籠流祭りの灯籠を利用者全員で作成し商工会に提供している。 中学生の体験学習やボランティアを受け入れているほか、近くの保育園児との交流が利用者の楽しみとなっている。 散歩時に近隣住民と挨拶を交わしたり、年数回、道路の清掃活動を実施している。 隣接する同一法人の施設の利用者と互いに訪問し合い、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に老人会の方や地域の行事に利用者様の参加ができることがあれば交流したいとの声掛けを促しています。散歩や買い物、地域の敬老会などで地域の人々との交流をしている。市主催の灯籠流し祭りに今年初めて参加を予定している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を行事をかねておこなっている。利用状況、行事報告、現状報告、今後の課題、問題点について意見を賜りアドバイスをうけ実践している。	運営推進会議は事業所の行事に合わせて年6回から7回実施し、委員から行事の感想も聴いている。 会議では事業所からの現状報告や行事報告、家族アンケートの結果報告をしているほか、委員からは今後の課題や問題点について意見が出され、老人会への参加の提案や避難訓練への協力の申し出があった。 出た意見等は話し合い、サービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当課や地域包括支援センターを訪問し、運営推進会議以外でも気軽に相談できる関係を築いている。	管理者は市担当課や地域包括支援センターを訪問し運営推進会議以外でも日頃から連絡を密に取り、散歩ボランティアや芸能ボランティアを紹介してもらうなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	昼間は玄関を施錠せず空気の入替えなど部屋や廊下の窓もあけ安全面に配慮しながら自由な暮らしを支援している。マニュアルを作成するとともに全職員が理解し実践に取り組んでいる。	職員は身体拘束について話し合い、独自のマニュアルを作成するとともに市販のマニュアルと一緒に活用している。 身体拘束防止のポスターを掲示するとともに、昼間は玄関を施錠せず見守ることにより身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修や内部の研修をおこなったりマニュアルを作成し話し合いを行い言葉、行動の虐待について注意をはらって観察し職員同志が声掛けあっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ケアマネや管理者など権利擁護の関する研修での職員への報告説明をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書類を提示し事前に説明をおこなっている。疑問点にも十分な説明をおこなっている。経済的なこと不安、介護報酬改正時には個別に文章とともに説明し理解を頂くようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話、面会などの時家族の要望悩みなどを聞く機会がある。又家族会などで無記名アンケートを書いていたたり（意見要望）して運営に反映している。運営推進会議にてアンケートの現状を報告して意見など聞いている。	年2回開催する家族会の当日にアンケートを実施し、意見や要望を汲みあげるよう努めるほか、参加できない家族等に対してもアンケートを実施し、結果を全家族等に報告している。 職員は家族等の面会時に利用者の様子を報告するとともに、意見や要望を聴くように努めている。 利用者からは日々の生活の中で話し合い、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティングや会議その他個別にての意見提案を聞く機会を設けている。自ら職員が考え前向きに提案できるように又全員で作った理念を共有できるように改善すべき点について話しあっている。	管理者は毎日の朝礼や昼礼、毎月の会議で職員の意見等を聞くほか、職員が個別に自由に意見や提案を言えるような機会を設けている。 各ユニットの主任の判断で解決できない問題は管理者に報告し、職員が働きやすい環境づくりを心がけている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の疲労ストレスに気を配り勤務時間内で気分転換できる休憩室を確保し人間関係を把握するようにしている。行事などアドバイスをしながらやり遂げた満足感を（利用者様や家族などに喜ばれた）感じとって向上心につながられるようになってきた。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として代表者は全体としての研修を考えている。管理者は力量を把握し役割を持たせ外部の研修を受けた職員は伝達し、内部研修では新人研修を行ない中型研修を行なう予定でいる。些細なことでも必ず職員同志ケアの確認をする事でチームワークの勉強につながせている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設の研修に参加している。同事業所の特養に研修の予定がある。系列の施設の見学や内容を把握し活動やケアについてサービスの向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	言葉かけに寄り添いながら生活をしていただくことで不安を解消し要望などを把握しそれに対応出来る様にしています。又他の利用者様との関係づくりの為職員が間に入り一緒にレクリエーションや日常の作業をしながら橋渡しをしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にサービスの内容を詳しく説明し家族の苦労や不安要望に耳を傾けながら又実際に見ていただくことをしながら利用される事で広がっていく可能性を前向きにお話しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様のご自宅での様子などを傾聴し本人やご家族の思い状況を確認しよりよい支援の提案など話し合いながら信頼関係を築き必要なサービスにつなげるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は日常生活の中で体験したことなどを教えていただいたり実際にやっていたり見ていただいたりしながらそういう場面が多くもてるように工夫や声掛けに配慮している		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に1度は広報誌とともに日常の暮らしぶりをご家族へ送っている。疎遠となっているご家族もそれにより現在のその人の暮らしぶりの情報が得られている。以前よりご家族からの電話や行事への参加が増えてきている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の機会を設けて馴染みの場所に行っている。又、現役時代の部下他友人が逢いに来ていただいたりしている。電話や手紙の支援などを行っている。	職員は利用者が希望する馴染みの場所に出かけられるよう、実家や墓参り、友人宅、行きつけの理美容院などに同行しこれまでの関係が途切れないよう支援するとともに、遠方の場合は利用者の希望を家族等に伝えている。 知人や友人が面会に来た際はゆっくり話ができるように支援するとともに、馴染みの人との関係が途切れないよう電話や手紙での支援にも努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に話を聞いたり相談に乗ったり他、利用者様と楽しく過ごす時間やユニットを行き来したりして気の合う同志が過せる時間をつくり円滑になるように調整役として支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設などへ移動され契約が終了したご本人、ご家族に対しても折にふれ不安なこと相談ごとはないか声掛けすることになっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人との会話の中で希望、意向の把握ができるよう努めている。意思疎通が困難な方は表情顔色にての判断できるようご本人の観察をしている。又ご家族や親戚や友人が面会時に重要な情報が得られるようにしている。	入居時のアセスメントにおいて、生活歴や職業歴、趣味、本人が望む生活などを聴取し記録している。担当職員は日々の生活の中で利用者の何気ない言動や表情から思いや意向を把握するように努め、把握した事柄をケース記録に残しているが、汲みあげた利用者の思いを一目で把握できるような記録の工夫をしたり、全職員で共有するまでには至っていない。	把握した利用者の思いや意向を全職員で共有できるような記録の工夫が望まれる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査は出来る限りご本人の馴染みの暮らしをしていた場所へ伺いそこから得られる情報を大切にしている。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の過ごし方、心身状態についてはケース記録にて把握できるよう記録し特に特変事項を中心に申し送りをしている。季節や入院退院などにより状況の変化がありためそのつど把握するようにしている。	/		/	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の意向家族の思いを計画書へ記録し関係者へ示している。担当職員が中心にモニタリングをしカンファレンス時には変更事項をケアプランに反映するようにしている。	介護計画はモニタリングを行うとともに利用者や家族等の意見や希望を取り入れ、全職員で意見交換やカンファレンスを行い作成している。介護計画は短期、長期目標の設定期間毎に見直すほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は現状に即した介護計画に見直すとともに利用者や家族等の確認を得ている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの課題サービス内容実施時のご本人の反応を中心に記録しケア側の気づきも記入している。特変事項は申し送りしケアプランへ反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人ご家族のご希望のかかりつけ医へ家族と共に付き添いしている。ご本人の夫の葬儀にも付き添い対応している。その他お墓参りの準備付き添い支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方達と一緒に散歩し、買い物や外出も回数を増やし地域の方達との交流を心がけ室内では食器拭きや洗濯たたみなど残存機能を生かし意欲的な雰囲気の中楽しく生活を送るように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院より往診、同事業所の看護師による健康管理と相談を支援24時間体制で対応している。又歯科、整形外科、眼科などの受診は本人や家族の希望に応じて対応している。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診や眼科、歯科への受診も職員が付き添い支援している。協力医の訪問診療を受診することができるほか、看護師による健康管理や相談が受けられ24時間の連絡体制が整っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調や些細な表情の変化を見逃さないように早期発見変化など気付いた事あれば管理者、ケアマネに報告、同事業所の看護師や往診のドクターに連絡対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時幾度と面会をし不安を取り除きご家族と連絡を取り詳しい状況を報告している。病院の主治医や相談員とも連絡をとり又往診のドクターや看護師にも連絡を取りあっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた方針、マニュアルを作っている。重度化して退院した利用者について病院にて看護サマリーの確認と主治医との連携をとりご家族や本人の意向を確認し支援を行っている。今後看取り介護の勉強会を行なっていく予定である。又ご家族ご本人より看取り介護を希望するかの確認を行う予定である。	「重度化した場合における対応及び看取りに関する指針」、「終末期における看取り介護マニュアル」、「看取りのケアプラン」、「緊急時対応の手順」を作成している。 「看取り介護に関する事前希望書」並びに「同意書」を利用者全員と取り交わしている。 終末期介護の勉強会を定期的開催し、全職員の理解と共有を図るほか、家族等に向けた勉強会も実施している。 事業所は看取りの経験はないが、開始にあたっては状況により利用者や家族等の意向を確認しながら実施することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署にて救急法など研修をしたり転倒、誤嚥時などの処置連絡の確認を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署等の協力を得た避難訓練や食料備品などの確保をしている。避難訓練は民生委員や地区の協力を得、地震などの火災時の訓練をおこなっている。消防の設備点検を業者に委託し定期的に消防署へ報告している。	消防署の協力を得て総合訓練や夜間想定避難訓練を年2回実施するとともに、民生委員や地域住民など3名の参加を得ている。 消火訓練や避難訓練の計画や実施記録を作成しているが、訓練で明らかになった問題点を記録するまでには至っていない。 災害時に備え隣接する同一法人の施設に食糧品などを事業所分として保管している。	次回の訓練に活かせるよう、訓練で明らかになった問題点を記録することを提案する。 運営推進会議などを活用し、避難訓練に多くの近隣住民の参加が得られるよう働きかけることが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の呼び方にも配慮し性名で聞きなれているほうで対応をしている。ポータブルトイレについては専用の保管場所がないため布などのカバーを利用、他の利用者様や面会の方達の目に触れないようにしている。天気の良いときは外に干すようにしている。	人格を尊重するという観点から、利用者の呼称は聞き慣れた名前で対応している。 トイレ誘導時に「こちらにどうぞ」という呼びかけをするなど、利用者の誇りやプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望に応じて外出支援や会主の支援を行なっている。又本人の訴えを受け止めて無理強いしないように混乱しないように答えやすく選ぶことが出来る様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様1人ひとりのペースにあわせて家事支援や外出支援を柔軟に行なっている。その日の体調や気分を配慮しその時の利用者の気持ちを尊重し無理のない内容で対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日中でも本人の意思にて着替えなどを行っている。自己決定がしにくい利用者様には季節など考慮しながら一緒に考えたり選べるように支援をしている。移動美容室も利用している。行きつけの美容室を希望の方は職員と一緒に行って談話も楽しみにしている。行事の時には特に女の方はお化粧を職員がお手伝いして生き生きとしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	主食のご飯は目の前にて温かく量も本人の確認のうえで盛り付け職員と一緒に準備や食事かたづけを楽しく食事出来る様雰囲気づくりをしている。	利用者はできる範囲で食事の準備や後片付けをしている。 職員は自家菜園で収穫した旬の野菜をメニューに取り入れたり、季節行事では特別メニューを提供しているほか、利用者の誕生日には希望にそった外食を支援するなど食事が楽しみになるように努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	副菜が多いときはご飯は少し減らしています。途中間食のあった方は3食で調節するようにしています。水分制限のある方は目安表をもとに摂取していただいています。利用者の身体機能に応じて刻み食や栄養補助食品などの支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯はポリドントなどで洗浄しています。残存歯は出来るところまで自分で歯間ブラシを利用し洗浄して頂き仕上げは介助しています。手に力が入らない方等は介助しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を参考に排泄パターン、利用者のサインに気づき又トイレの訴えのない利用者でも排泄を促し気持ちよく排泄できるように支援している。	排泄チェック表から把握した利用者毎の排泄パターンに基づいて誘導を行い、できる限りトイレで排泄できるように支援している。 職員は利用者が日中は布パンツで過ごせるように支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を参考に便なし続く時ヨーグルト、オリゴ糖、カンテンを食べていただく。腹部マッサージ、便秘予防体操など行い水分摂取し排便チェック表を使用して1人ひとりの状況に応じ支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴表に基づき週2,3回を目安とし入浴して頂いていますが拒否や外出により入浴できない場合曜日時間ずらし工夫し入浴しています。入浴日でないときは就寝前に清拭足浴をしさっぱりしていただくように支援しています。	日曜日を除き、週2回から3回の入浴を支援している。 入浴を拒む利用者や外出のため入浴できない日などがあっても、曜日を変更して入浴できるよう支援している。 入浴しない日は就寝前に清拭や足浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの意向を確認しながら利用者の状態に合わせて休まれる環境を整え休息したり入眠したりしていただけるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各居室担当による服薬状況の確認や薬ジョイントのチェックを行い薬使用にあたっての用法、用量などレポートなどにまとめるなど薬の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑での野菜づくりや調理、食器の片付け、洗濯物たたみ、毎日のリハビリ体操など利用者様1人ひとりにあった楽しみや自信の持てる役割の支援をしている役割の終了後必ず感謝の言葉を伝えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望で個別に買い物、コンビニエンスストアのお茶飲み他の施設に入所している妹様への面会支援、職員の個別散歩支援、毎月2回の散歩のボランティアの外出支援などを行なっている。	利用者は天気の良い日には事業所周辺を散歩している。 職員は利用者の個別の散歩に同行したり、近くのスーパーやコンビニエンスストアでの買い物を支援しているほか、月2回散歩ボランティアを受入れ、利用者が日常的に外出できるよう支援している。 利用者が隣接する同一法人の施設に入所している妹を訪問できるよう支援している。 笠間稲荷神社への初詣や千波湖へのドライブなど、遠方への外出も数多く支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭貴重品はホーム内で管理保管しているが財布など保管場所などを利用者様に伝え不安にならないように支援、外出買い物時には本人に渡し精算されるよう支援しご本人によっては恥をかかないように職員が前もって準備している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の申し出によりホームの電話を使い家族知人への連絡をしている。又手紙での情報交換なども支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにテレビ、ラジオ、ラジカセ、折り紙、トランプ、新聞、カルタ、鉛筆、クレヨン等置き自由に使っていただいている。玄関前にベンチを設置季節の花も育て畑も作り野菜を育てている。調理する匂いや音などを感じ取りながら安心して過ごせる食堂に季節の鉢植えを置いたり廊下に利用者の作品が飾られ居心地良く過せるように配慮している。	一般家庭を改築した事業所なので共用空間は少ない。 段差などがあるが、工夫して利用者のリハビリに利用している。 事業所内は清潔に保たれ食堂が寛ぐ場所となっているが、ゆとりが少なく生活感や季節感を取り入れたたり居心地良く過ごせるような環境づくりをするまでには至っていない。	共有空間に生活感や季節感を取り入れ、居心地良く過ごせる工夫をすることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの他にもイス、ソファ（事務所内）ベンチ（玄関前）に置き思いおもいに過せるようにしている。気の合う利用者様同志がユニットからユニットへ移動して話が出る様になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活用品の持ち込み制限はなく両者は家族と相談しながらテレビ、家具、仏壇などを持ち込むとともに家族などの写真などを飾り落ち着いて暮らせるように工夫をしている。	居室に家族写真やテレビ、タンス、仏壇を持ち込んでいる利用者があるが、居心地良く暮らせる工夫をするまでには至っていない。	事業所は共有空間が少ないため利用者は居室で過ごすことが多いので、職員は利用者や家族等と相談し、居心地良く暮らせるよう工夫することを期待する。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共同空間では廊下をはじめ手すりを随時設置。居室においては1人1人の身体機能にあわせてベット、ポータブルトイレ、家具類を設置し自立した生活が送れるように工夫している。古い建物である為段差があるが目印をつけたりその都度声を掛け見守り転倒予防に努めている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 花水木

作成日 平成22年12月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		居心地の良い共有空間、居間づくり	利用者様にとって居心地の良い環境づくりを、ご家族様と相談しながらつくりあげていく。	共有空間居間について、ご家族様の協力のもと、生活感季節感が感じられるような雰囲気づくりを実行する。	1年
2		災害対策	地域の皆様と協力できる体制づくりをめざす。	まずは、推進委員の方やその知人に定期的な避難訓練に参加していただく。散歩ボランティアなどで外部と交流し、開かれたホームをめざし災害時の協力体制を整える。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。